

女性 200 人を対象に「エイジング」に関する意識調査を実施
**20代から老化を実感！将来不安に思う顔の肌の老化現象 TOP3 は
年代問わず「シワ」「シミ」「たるみ」**

ポーラ・オルビスグループで化粧品に関する研究活動を行うポーラ文化研究所（所在地：東京都品川区）は、25～34歳、50～59歳の女性それぞれ100人ずつ計200人を対象に、「エイジング」に関する意識調査を行いました。

【調査概要】

25～34歳の8割以上が顔の肌の老化を実感／顔の肌の老化現象 第1位は両年代で「シミ」

- ・顔の肌の老化を少しでも感じているという人は、50～59歳では93%、25～34歳でも83%
- ・実感している顔の肌の老化現象第1位は、両年代で「シミ」
- ・将来の肌の老化を不安と感じている人は、50～59歳では92%、25～34歳では86%
- ・将来不安に思う顔の肌の老化現象 TOP3 は、両年代で「シワ」「シミ」「たるみ」

現在行っているエイジングケアを目的とした美容法 第1位は「スキンケア化粧品」の使用

- ・現在行っているエイジングケアを目的とした美容法第1位は、両年代で「スキンケア化粧品」
- ・エイジングケアを目的とした美容法の中でも特に「スキンケア化粧品」を使いたいと答えた理由としては、「手軽で、無理なく毎日続けられる」という意見が多数。また、スキンケア化粧品へ信頼を寄せる意見も見受けられた。
- ・顔の肌の老化への考え TOP3は、25～34歳、50～59歳ともに1位「できることなら予防したい」、2位「老化のスピードを緩やかにしたい」、3位「老化を改善したい」

ポーラ文化研究所とは

ポーラ文化研究所は1976年の設立以来、「化粧品・女性・美意識」をキーワードに東西の化粧史や各時代の風俗や美人観など化粧品に関わる幅広い研究活動を行ってきました。その成果を出版物や調査レポート、展覧会等で広く社会へ発信しています。収集してきた資料性の高い化粧道具・装身具類は6,500点、希少な古書を含む文献は15,000冊を数えます。「ポーラ化粧文化情報センター」ではこれら資料の紹介検索、閲覧などの情報提供サービスを行っています。

<http://www.po-holdings.co.jp/csr/culture/bunken/index.html>

【本件に関するお問い合わせ】 (株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
TEL 03-3563-5540 / Mail: webmaster@po-holdings.co.jp

【調査内容に関するお問い合わせ】 ポーラ文化研究所 TEL 03-3494-7250 / FAX 03-3494-7294

顔の肌の老化について、25～34 歳の内 83%が実感

顔の肌の老化実感者（肌の老化をととも～少し感じている）は25～34歳で83%、50～59歳で93%。どちらの年代も8割を超える高いスコアではありますが、50～59歳では老化を「とても感じている」人が多く、40%に達しています。老化実感は、加齢による影響が大きいことがわかります。

【現在の顔の肌の老化実感について】

| (n) | | とても感じている | 感じている | 少し感じている | 感じていない | とても～少し感じている計 |
|--------|-------|----------|-------|---------|--------|--------------|
| 25～34歳 | (100) | 27.0 | 35.0 | 21.0 | 17.0 | 83.0 |
| 50～59歳 | (100) | 40.0 | 35.0 | 18.0 | 7.0 | 93.0 |

(%)

将来における老化現象に対しては、年代問わず不安視

将来の顔の肌の老化を不安と感じている人（とても～少し感じている）は25～34歳で86%、50～59歳で92%。25～34歳では「とても感じている」人が39%、50～59歳でも41%とほぼ同水準となっています。年代問わず老化を不安視しているといえます。

【将来における顔の肌の老化への不安について】

| (n) | | とても感じている | 感じている | 少し感じている | 感じていない | とても～少し感じている計 |
|--------|-------|----------|-------|---------|--------|--------------|
| 25～34歳 | (100) | 39.0 | 32.0 | 15.0 | 14.0 | 86.0 |
| 50～59歳 | (100) | 41.0 | 35.0 | 16.0 | 8.0 | 92.0 |

(%)

実感している顔の肌の老化現象第1位は、両年代で「シミ」

実感している顔の肌の老化現象 25～34歳では、1位「シミ」51%、2位「くすみ」47%、3位「ハリのないさ」45%、4位「シワ」37%。50～59歳では、1位「シミ」76%、2位「たるみ」72%、3位「シワ」62%、4位「ハリのないさ」61%となりました。

【実感している顔の肌の老化現象】（基数：将来の顔の肌の老化を不安と感じている人）

| (n) | | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | その他 | わからない |
|--------|------|------|------|--------|--------|------|-----|-------|
| 25～34歳 | (83) | シミ | くすみ | ハリのないさ | シワ | たるみ | 8.4 | 8.4 |
| | | 50.6 | 47.0 | 44.6 | 37.3 | 36.1 | | |
| (n) | | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | その他 | わからない |
| 50～59歳 | (93) | シミ | たるみ | シワ | ハリのないさ | くすみ | 2.2 | 2.2 |
| | | 76.3 | 72.0 | 62.4 | 61.3 | 49.5 | | |

(%)

将来不安に思う顔の肌の老化現象 TOP3 は、年代問わず「シワ」「シミ」「たるみ」がランクイン

将来不安に思う顔の肌の老化現象 25～34 歳では、1 位「シワ」70%、2 位「シミ」67%、3 位「たるみ」58%。50～59 歳では、1 位「たるみ」80%、2 位「シミ」75%、3 位「シワ」73%となりました。

【将来不安に思う顔の肌の老化現象】（基数：顔の肌の老化実感者）

| | | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 4位 | | |
|--------|------|------|------|------|--------|------|-----|-------|
| (n) | | シワ | シミ | たるみ | ハリのないさ | くすみ | その他 | わからない |
| 25～34歳 | (86) | 69.8 | 67.4 | 58.1 | 47.7 | 47.7 | 3.5 | 5.8 |

(%)

| | | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | | |
|--------|------|------|------|------|--------|------|-----|-------|
| (n) | | たるみ | シミ | シワ | ハリのないさ | くすみ | その他 | わからない |
| 50～59歳 | (92) | 80.4 | 75.0 | 72.8 | 57.6 | 43.5 | 2.2 | 2.2 |

(%)

若い年代では、肌の老化そのものは 50 代ほど強くは実感していないが、新聞・雑誌・ネット・テレビ・家族や友人などから、様々な老化に関する情報を入手することで、不安要素として感じているとみられます。

現在行っている／今後も行いたいエイジングケアを目的とした美容法第 1 位は、両年代で「スキンケア化粧品」

現在行っているエイジングケアを目的とした美容法は、25～34 歳、50～59 歳ともに「スキンケア化粧品」が第1位となりました。50～59 歳では「スキンケア化粧品」77%、「サプリメント」25%となり、25～34 歳より高い傾向があります。また、50～59 歳は若い年代より多くの女性が何らかのエイジングケアを行っている割合が多いことがわかります。

今後行いたい・使いたいエイジングケア目的でも、25～34 歳、50～59 歳ともに「スキンケア化粧品」が第 1 位となりました。「美容整形」「医薬品」においては、25～34 歳の回答数が 50～59 歳よりやや多く、若い世代の方が積極的なエイジングケアを行う意思があるとも考えられます。

【エイジングケアを目的としたもので、現在（最近 1 ヶ月）行っている・使っているもの】

| | | スキンケア化粧品 | サプリメント・健康補助食品 | エステ | 美容家電 | プチ整形（クリニックでの肌を切らない施術） | 美容整形（クリニックでの肌を切る施術） | 医薬品（※エイジングケア目的） | その他の美容法 | 特になし |
|--------|-------|----------|---------------|-----|------|-----------------------|---------------------|-----------------|---------|------|
| 25～34歳 | (100) | 50.0 | 11.0 | 5.0 | 4.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 47.0 |
| 50～59歳 | (100) | 77.0 | 25.0 | 6.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 20.0 |

(%)

【エイジングケアを目的としたもので、今後（または今後も）行いたい・使いたいもの】

| (n) | スキンケア化粧品 | サプリメント・健康補助食品 | エステ | 美容家電 | プチ整形（クリニックでの肌を切らない施術） | 美容整形（クリニックでの肌を切る施術） | 医薬品（※エイジングケア目的） | その他の美容法 | 特になし |
|--------------|----------|---------------|------|------|-----------------------|---------------------|-----------------|---------|------|
| 25～34歳 (100) | 60.0 | 22.0 | 15.0 | 12.0 | 6.0 | 2.0 | 11.0 | 0.0 | 29.0 |
| 50～59歳 (100) | 74.0 | 30.0 | 15.0 | 13.0 | 8.0 | 1.0 | 6.0 | 0.0 | 19.0 |

(%)

以下、エイジングケアを目的とした美容法に対して、「スキンケア化粧品」と回答した人の自由回答例となります。

「手早く簡単に出来るから」25歳／「一番手軽で安全だから」27歳／「無理なく毎日続けられそう。習慣の中で、綺麗になりたい」30歳／「手軽に毎日続けられそうだから」34歳／「毎日の積み重ねが大事だと思うので」50歳／「エイジングケアの基本だと思うから」53歳／「今はとても良いスキンケア商品があるから」58歳／「エイジングケア化粧品は日々進化しているので効果の実感出来る商品に出会える可能性があるから」50歳

エイジングケアを目的とした美容法の中でも、特に「スキンケア化粧品」を使いたいと答えた理由としては「手軽で、無理なく毎日続けられる」という意見が多く見られました。それにより、日々の積み重ねを大切にしている女性が多いことがわかりました。また、スキンケア化粧品へ信頼を寄せる意見も見受けられました。

【顔の肌の老化に対する考え ※老化を実感していない方は、肌が老化したと仮定して回答】

| (n) | できることなら顔の肌の老化を予防したい | できることなら顔の肌の老化のスピードを緩やかにしたい | できることなら顔の肌の老化を改善したい | 顔の肌の老化は自然なことだと思っ て受け入 れる | 顔の肌の老化は仕方がないことだと思っ てあきら める | その他の 考え | 顔の肌の老化について関心があるがわからない | 顔の肌の老化について関心がないので考えはない |
|--------------|---------------------|----------------------------|---------------------|--------------------------------|----------------------------------|------------|-----------------------|------------------------|
| 25～34歳 (100) | 65.0 | 47.0 | 45.0 | 32.0 | 10.0 | 0.0 | 3.0 | 12.0 |
| 50～59歳 (100) | 69.0 | 61.0 | 50.0 | 41.0 | 13.0 | 0.0 | 2.0 | 7.0 |

(%)

顔の肌の老化への考え TOP3は25～34歳、50～59歳ともに、1位「できることなら予防したい」、2位「老化のスピードを緩やかにしたい」、3位「老化を改善したい」となりました。年代問わず老化に対するケア（予防・改善・スピード緩和）を意識していることがわかります。

＜実施概要＞ 「エイジング」に関する意識調査

企画設計：ポーラ文化研究所

調査時期：2017/05/19 ～ 2017/05/22

調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に居住する25～34歳、50～59歳の女性200人（25～29歳、30～34歳、50～54歳、55～59歳：各50人）